

## クロストーク

同じ部署で働く「上司」と「部下」の2人に、普段の業務内容、仕事の中で大切にしていることや、それぞれの立場から見たお互いの様子等について語り合ってもらいました。

### 文化庁参事官 (生活文化創造担当) 付

係長

参事官(生活文化創造担当) 付総務係長  
**永井 麗子 Nagai Reiko**  
平成24年 入省(行政)

係員

参事官(生活文化創造担当) 付総務係  
**石井 沙依 Ishii Sae**  
令和4年 入省(行政)

#### — 所属されている課及びお二人の業務内容について教えてください

**永井** 参事官(生活文化創造担当)は、主に、文化芸術による共生社会の推進や地域の文化芸術、書道・茶道・華道等の生活文化等の振興、地域の伝統行事等の継承支援等を行っております。芸術文化の業務も文化財の業務もやっている珍しい部署ですね。私は総務係長として、予算要求の取りまとめや、職員の勤務管理等を行っています。

ご存じかもしれませんが、文化庁は令和5年3月27日から京都の新庁舎において業務を開始しています。私自身はその前から先行移転組織の一員として京都で勤務していたので、新庁舎への移転業務にも携わりました。国の組織が移転するというのは想像以上に大変な業務でしたが、貴重な経験ができました。

**石井** 同じく総務係で主に旅費・庁費等の執行管理、労務的業務、それらに関わる文書管理などの庶務業務を担当しています。

京都庁舎ならではの業務という、日頃からオンラインでの会議・打合せが多く行われています。移転前から京都の先行組織との調整を会議システム等を使用して行い、移転後は庁内・外ともに主にオンラインでやり取りが行われています。私は文化庁の京都移転に合わせて東京から転勤となりましたが、移転時は広報に関わる別部署にあり、中央省庁の機能が初めて地方に移転するという、事の大きさを肌で感じることができました。

#### — 普段の業務でのお互いの様子やどのようにコミュニケーションを取っているかについて教えてください

**永井** 石井さんはお任せする業務にしっかり対応してくれますし、周囲にも目配りしてくれるので、とても助かっています。私がやろうと思っていたことを先回りしてやってくださるので、頭が上がりません(笑)。コミュニケーションについては、声をかけやすい雰囲気づくりを心掛けているつもり…ですが、どうでしょうか(笑)。声がかけづらい時もあると思うので、困っていることや相談したいことがないか、なるべくこちらから声をかけるようにしています。

**石井** ありがとうございます。私の方こそいつもお世話になるばかりで恐縮です…!永井さんは隣の席の私にだけでなく課内全体に対して、業務的な面はもちろん、日々の働きやすさにまで細かく気を配ってくださるため、職場のよい雰囲気ができあがっています。内容に合わせて、口頭で相談したり、チャットやメールでもコミュニケーションを取ることが多く、分からないことがあっても本当に丁寧に教えてくださるので絶大な信頼感があります。

#### — どういったところに係員と係長の違いを感じるか教えてください

**石井** 永井さんがこれまでの業務経験で得られている、知識、スキルと心構えに係長との違いを感じます。多くの調整の場面で、相手の立場や考え方に対する知識を持たれた上で、物事を着地点まで導くスキルと、様々な意見の中でもブレない働きかけができる心構えはこれまでのご経験やご自身の努力があってこそなのだと感じています。業務の知識だけでなく考え方や学ばせていただくことがとてもたくさんあります。

**永井** ありがとうございます。先ほどもお話ししましたが、石井さんをお願いしたことだけではなく、それを踏まえて自ら先を見据えた動きをしてくださる方です。この仕事において先を見据えることはとても大切なので、その視点はこれからも持ち続けていただき、様々な経験を積まれる中で、周りの職員を見て、良いと思うことはどんどん吸収していただければ嬉しいです。

#### — 仕事をする上で大切にしていること、意識していることについて教えてください

**永井** スケジュールを立てて仕事をする事です。一人で完結できる仕事は少なく、ほとんどは様々な方から協力いただいて進む仕事なので、いつ、誰に、何をお願いすればいいのかを意識して取り組むようにしています。また、日々多くの業務に携わるので、優先順位や、メリハリをつけることも大切にしています。

**石井** 永井さんが大切にされていることは、私も隣で見ていて見習わせてもらっています。計画を立てるためには、様々な経験が必要になると思うので、私の場合はまず実現可能なスケジュールを立てるといった段階に取り組んでいます。また個人的には、慎重な性格ということもあり、チェックを重ねるなど丁寧な仕事は常に心掛けています。

#### — 文部科学省を目指す人へのメッセージをお願いします

**永井** 文部科学省の所掌する範囲は教育、科学技術・学術、スポーツ、文化と幅広いので、様々なバックグラウンドを持った方が集まっています。自分が今まで触れることのないものに触れ、成長し続けることができる職場だと思います。

文部科学省に興味関心を持っていただき、そして、一緒に働くことを心待ちにしています。

**石井** 永井さんがおっしゃるように、文部科学省は所掌範囲が広く、集まる方も様々で、多くの方が未来に向けて高い志を持たれていると思います。そんな魅力の詰まった環境で挑戦しながら、新しい自分を発見してみてください。



係長

大臣官房会計課総括予算班第一係長  
**前橋 雄矢** Maehashi Yuya  
平成27年入省(機械)

係員

大臣官房会計課総括予算班第一係  
**近江 翼** Omi Tsubasa  
令和4年入省(化学)

大臣官房会計課  
総括予算班

—所属されている課及びお二人の業務内容について教えてください

前橋

様々な課題を解決するために必要な政策や施策を実施する手段の一つとして予算があります。会計課総括予算班では、夏の概算要求、冬の予算編成と1年をかけて省内の部局と財務省との調整業務を担当しており、特に私たちは科学技術分野の予算を担当としています。

科学技術分野の人材育成をはじめとする研究開発環境の整備や、宇宙分野やAI分野などの研究開発の推進等、実際の政策・施策に必要な予算の検討や執行はそれぞれの担当局課が実施している中で、私たちは限りある予算の中でその必要性や実効性等を担当局課と共に確認し、財務省への説明を行うという調整役を担っています。

近江

予算業務のうち、各局課が作成する予算や施策の資料を取りまとめ、文部科学省幹部、財務省、報道機関等外部に説明するための資料を作成しております。

これらの資料の取りまとめに当たっては、私の所属する会計課で実際に計数の管理を行う担当者や係とも密にコミュニケーションを取りながら仕事を進めており、科学技術分野を担当する部局や財務省の担当者との連携・調整も重要となっております。

—普段の業務でのお互いの様子やどのようにコミュニケーションを取っているかについて教えてください

前橋

近江さんはどんな仕事でもきちんと向き合っており、また何か困ったことがあれば私に加えて他の職員にもすぐに相談しているので、とてもフットワークが軽くがんばっているなど感心しています。また日々のコミュニケーションは業務を助けると思っており、業務中に私が担当している業務について説明したり、勤務後のコミュニケーションも気軽に取っている方だと思います。

近江

各局課が作成する予算や施策の資料の取りまとめに当たっては、科技と文教予算で足並みを揃えて予算資料を作成していくことになるのですが、前橋係長は会計課の各ラインや研究3局、財務省と密にコミュニケーションを取ってくださっており、仕事上で関わる職員全員が働きやすい雰囲気を作ってくださいました。そのため、仕事上で調整業務が発生した際など、どこに何の連絡をすべきか、どのように進めていくべきか常に考えてくださり、また、重要な事を必要なタイミングで伝えてくださり、常に、私が仕事をする上で知っておいた方がよいという情報や進め方をお話してくださるため大変心強いです。

—どういったところに係員と係長の違いを感じるか教えてください

近江

前橋係長は、私が抱えている業務において、様々なケースを想定しどのように業務を進めていけば良いのか常に気にかけてくださっており、それに加えて予算や施策の資料の作成や取りまとめや、調整官や専門官から依頼があった他局や財務省との調整等を同時並行で進めていらっしゃる、その業務の進め方や対応されている姿にはいつも勉強させていただいております。

前橋

係員のころは業務のどこから手を付けて良いか、どのように資料を集めるべきか等悩むことが多いと思います。係長は補佐や課長と一緒に業務を行うことも多く、より広く多様な視点の情報を持っています。係員を導くというのは少しおこがましいですが、自身の業務だけではなく係全体の業務の効率的な遂行を行う必要があるという点をよく感じます。

—仕事をする上で大切にしていること、意識していることについて教えてください

前橋

私はコミュニケーションを取って共通理解を醸成しながら仕事をするのが大切だと思っています。施策を担当する局課に比べ、いわゆる現場との距離は遠いながら予算を取り扱っていることや、省内と財務省との調整を行っていることから、私たちだけではなく双方との考えをまとめていくことが大切だと日々感じています。

近江

物事を正確に伝えることで、まとまった情報だけでなく、物事の全体像を正確に伝えることで、全体の業務スピードも上がり、分担して仕事ができるようになるので、常にどの情報が必要で、どういった背景でその業務が行われているのか瞬時に把握し、仕事を進めていくことが、全員で一つの仕事に取り組む上で重要だと感じています。



—文部科学省を目指す人へのメッセージをお願いします

前橋

国家公務員は政策や施策といった大きな仕事に携われる中で、文部科学省は特に教育や科学技術など私たちの未来に密接に関わってくる分野の最先端に携わることができるのが魅力だと思います。皆さんに会えることを楽しみにしています。

近江

文部科学省は所管する範囲が多く、広範な経験が可能で、多様な人々と一緒に仕事ができるため、毎日刺激がある職場です。様々な選択肢がある中で、悔いのない就職活動をしていただき、そのうえで文部科学省を選んでいただけたら幸いです。一緒に働くことを心待ちにしています。

# キャリアパス

入省後は、キャリア形成の中で、現場も含めた多様な経験を積み、各分野の業務に精通する機会を継続的に経験してもらいます。一つのポストに在籍する期間は2年程度を基本とし、個々の職員的能力・適正・経験・希望等を踏まえ柔軟に人事配置をしています。主な活躍の場は、本省のほか、他省庁、独立行政法人、国立大学法人、教育委員会、海外機関などが想定されます。



## 出向・留学制度

### 他省庁等への出向

複雑・高度化する行政課題に対応するため、ものの見方や考え方の幅を広げる必要があります。また、異なる分野の行政に携わる人たちの交流を深める観点から重要な意味を持つため、積極的に行っています。

### 地方自治体・国立大学法人等への出向

地方自治体や国立大学法人等の要請に応じ、都道府県や市町村の教育委員会、首長部局、国立大学法人や独立行政法人等への出向もあります。現場の教職員や研究者、文化関係者等と、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化を考えていく貴重な機会となっています。

### 在外公館等での海外勤務

ボーダーレスの時代において、これからの行政に国際的な視点は欠かすことができません。外務省に出向して現地の大使館で外交官として勤務したり、国際機関に派遣されて国際公務員として活躍するという機会も設けられています。

### 海外留学制度

グローバル人材育成のための研修である、人事院による長期在外研究員制度をはじめとした各種留学制度のほか、文部科学省の留学制度として宇宙関係、原子力関係の留学制度があります。

## 出向中の職員からのメッセージ

### 他省庁 出向

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局  
参事官（イノベーション推進担当）付 主査

**和仁 裕之 Wani Hiroyuki**

平成28年 入省（電気・電子・情報区分）

### 出向先での業務概要

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局（CSTI）は、科学技術政策担当大臣の下、多種多様な科学技術イノベーション政策を行う組織です。私が所属しているイノベーション推進担当では、イノベーションを創出するスタートアップが次々と生まれ、大きく育つような仕組み（スタートアップ・エコシステム）の推進に取り組んでいます。「スタートアップ育成5か年計画（新しい資本主義実現会議決定（令和4年11月28日）」に基づき、SBIR制度という省庁連携で研究開発型スタートアップ等に対して、起業前から政府調達まで一貫通貫で支援する取組の制度運営を担当しています。

### 出向を通して生まれた目標、今後挑戦したいこと

CSTIは各省庁、地方公共団体、大学、民間企業等からの出向者等と共に、各省庁の科学技術イノベーション政策の司令塔機能を有しています。出向前の約2年間、文部科学省で大学等発スタートアップ支援等の担当をしていましたが、関係省庁と連携してスタートアップの海外展開、規制緩和、公共調達促進等、文部科学省では味わえない幅広い分野の施策を推進しています。出向を通じて、スタートアップ支援のプロになるという目標を持ちながら、現場の自治体・金融機関・起業家・支援機関等と対話を重ねながら施策の具体化を進めることにチャレンジしていきたいと思っています。

BSJapanextの番組にテレビ出演した際のオフショット写真



地方  
自治体

新潟県佐渡市教育委員会 教育次長  
**鈴木 健一郎** Suzuki Kenichiro  
平成23年入省 (行政)

#### 出向先での業務概要

佐渡市は人口約5万人、東京23区の1.4倍の大きさの日本海側最大の島です。島内には、小学校が22校、中学校が13校あり、自然、文化、食などの豊かな資源を生かした特色ある教育活動を行っています。教育委員会には、学校教育をはじめ、スポーツや文化、図書館や公民館、博物館など所掌する業務は広く、100人以上の職員が在籍する大きな組織です。市長、教育長、各課長や現場の職員とよく議論を重ねながら必要な取組を進めています。特に、新しい施策である部活動の地域移行については、赴任後すぐにスポーツ庁とも調整しながら「佐渡市地域クラブ活動」を立ち上げました。

#### 出向を通して得られた経験

これまで教育に関わる部署での経験はありましたが、本省から離れて現場に近い基礎自治体に出向したことで、分かることや見えることがたくさんあります。責任ある立場として、広く全体を見渡すことが大事であり、教育施策は当然ですが、議会答弁をはじめ災害や事故対応などの様々な場面において、難しい判断や選択が必要になります。このことは、今後の本省での業務につながることも、人生にとっても大きな糧となる貴重な経験であると思っています。



市長定例会見での発言の様子

国立大学  
法人

国立大学法人琉球大学 上原キャンパス事務部  
普天間キャンパス (仮称) 準備室・主任  
**二見 英里** Futami Eri  
平成28年入省 (行政)

#### 出向先での業務概要

私は、日本最南端かつ最西端の総合大学である琉球大学において、令和7(2025)年に予定している医学部と病院のキャンパス移転事業を担当しています。新キャンパスにおける運用や学内規則等の検討及び整備、患者・教職員・学生のための施設運営事業者の誘致、物品調達等、担当する業務は多岐にわたります。また、今回の移転先は、返還された駐留軍用地跡地となっており、今後の跡地利用のモデルとしても期待されています。

次から次へと難題が降りかかることもしばしばですが、多様なバックグラウンドを持つ同僚と共に「移転」という大きなゴールに向かって、刺激的な毎日を送っています。

#### 出向を通して得られた経験

国立大学への出向は、知見や自らの可能性を広げる機会だけでなく、本省で培ってきたこれまでの経験も大いに活かせる機会ともなっています。また、これからの高等教育や大学を深く理解する上で、非常に良い経験だと感じています。

独自の文化や風習が根付く沖縄にある琉大ならではの視点だけでなく、枠組みに捉われず広い視点で物事を判断し、提案することが求められています。新しい風を吹かすことができるよう、日々業務に邁進し、残りの出向生活を充実したものにしていきたいです。



移転先の新病院前にて

独立行政  
法人

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構  
宇宙教育推進室 主事補  
**溝口 颯乃** Mizoguchi Hayano  
令和3年入省 (化学)

#### 出向先での業務概要

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、宇宙と空を活かし、安全で豊かな社会を実現するため、宇宙科学に関する研究開発を行っている国立研究機関です。私が所属する宇宙教育推進室は、JAXAが培ってきた様々な知識や技術、データや成果を活用して、幅広い世代に向けた教育プログラムを実施しています。宇宙=理科というイメージが強いかもしれませんが、宇宙は研究開発だけでなく、産業や社会全体とも幅広く関わっています。宇宙をきっかけとして、一人ひとりの学ぶ意欲を引き出し、将来の日本を担う人材の育成に貢献しています。

#### 出向を通して得られた経験

出向は、文部科学省の業務から離れて、新たな経験ができる貴重な機会です。JAXAの教育プログラムは、文部科学省で議論しているアクティブラーニングやSTEAM教育等の考え方に沿って作成しています。そういったプログラムに参加した児童、生徒、学生たちが熱心に宇宙のことを勉強している姿を実際に間近で見ると、今の日本に必要な学びは何かを常に考えています。文部科学省に戻ってからも、未来の研究者の“応援屋”となり、全ての人が学びを深められる社会を作りたいです。



JAXA相模原キャンパスのロゴの前で

海外勤務

在ミャンマー日本国大使館  
広報文化班・二等書記官  
**柏木 友希** Kashiwagi Yuki  
平成20年入省 (行政)

#### 出向先での業務概要

教育・文化・スポーツ分野の担当ですが、ミャンマーでは近年、日本留学熱が急激に高まっていることもあり、留学関連業務が主な業務となっています。

具体的には、元留学生協会などの各機関と協力をしながら、国費外国人留学生の大使館推薦業務や留学相談などの留学支援業務、日本語学習者を対象にした「日本語スピーチコンテスト」、「日本文学翻訳コンテスト」といった文化イベントの実施を担当しています。

#### 出向を通して得られた経験

業務上、現地学生と接する機会も多く、直接話を聞く中で、留学に関する可否通知1枚や、日本政府の発行する文書の中にあるたった1行が、様々な状況下で必死に日本留学を目指している若者の人生に、どれだけ大きく影響しているのかということの日々痛感しています。

出向を通じ、ミャンマーという国で現地学生と関わったことで、行政事務の重さを実感し、1つ1つの業務を丁寧に、人の心に寄り添いながら行っていくことの大切さを改めて学ぶことができました。

ミャンマー元日本留学生協会創立記念イベントで留学アドバイザーの先生と(右が筆者)



各役職の職員からのメッセージ

係長級

初等中等教育局  
初等中等教育企画課総務係長  
**鶴原 寛之** Tsuruhara Hiroyuki

これまでの経歴の簡単な紹介と一番印象に残っている業務について

入省してからこれまで、文部科学省予算の取りまとめ、私立学校への助成、学校保健や健康教育の推進、高校生への修学支援等の業務を担当しました。また、国立大学に外向して、大学の総務業務も経験しました。

様々な業務に携わる中で、一番印象に残っていることは…と考えてみました。なかなか一つに絞ることができません。予算の調整が上手くいかず上司にアドバイスをもらったこと。学校教育をより良くするため専門の先生と議論したこと。上司や同僚と相談しながら新しい支援制度を作ったこと。どの業務も共通して、自分一人の力では上手くいかなかったはずです。

私が一番印象に残っていることは、上司や同僚、仲間たちと一緒に働いた全ての時間です。

現在の業務内容、現在の役職での役割、心がけていること

現在は、幼稚園から高等学校段階までの学校教育を所掌する初等中等教育局において、初等中等教育行政が滞りなく遂行されるよう、総務の取りまとめ業務を担当しています。具体的には、局全体の窓口として、人事や庶務に関わる総合調整、予算執行の取りまとめ等の業務です。

今の私の業務は、教育委員会や学校、子供たちと直接的に関わるものではありません。誰かと誰かの間に入って調整をしたり、初等中等教育局で働く職員さんが困ったときに支えたりすることが主な役割です。

自分のやった仕事の成果が見えにくいこともあります。しかし、そんな私の仕事だって、辿っていけば必ず教育現場につながっていることを意識して、日々の業務に取り組むよう心がけています。



- 平成 19 年 入省 (行政)
- 平成 19 年 4 月 文部科学省大臣官房会計課第三予算班
- 平成 21 年 4 月 同 大臣官房会計課第一予算班
- 平成 22 年 4 月 国立大学法人香川大学経営管理室総務グループ
- 平成 23 年 4 月 同 総合企画室
- 平成 24 年 4 月 文部科学省高等教育局私学部私学助成課
- 平成 26 年 10 月 同 高等教育局私学部私学助成課総括係主任
- 平成 27 年 2 月 スポーツ・青少年局学校健康教育課保健指導係主任
- 平成 27 年 10 月 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課専門職
- 平成 28 年 4 月 同 初等中等教育局健康教育・食育課保健指導係長
- 平成 28 年 10 月 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課専門職
- 平成 29 年 4 月 同 高等教育局私学部私学助成課助成第四係長
- 平成 31 年 4 月 同 初等中等教育局財務課高校修学支援室高校奨学金係長
- 令和 3 年 10 月 同 初等中等教育局修学支援・教材課  
高校修学支援室高校奨学金係長
- 令和 4 年 4 月 現職

文部科学省で働くことの魅力、  
学生等へのメッセージ

私が皆さんと同じ年頃で、慣れないスーツを着て文部科学省の採用面接に参加したときのことです。当時の採用担当者から「文部科学省は日本の未来を創る仕事をしている」という話を聞きました。その言葉は私にとってとても印象的で、今でも強く心に残っています。

想像してみてください。自分の携わった仕事は、国の教育政策として実行されたとします。すぐには成果が出ないかもしれませんが、何か問題が起きるかもしれません。試行錯誤を繰り返して、改善をして、やがて、その政策に基づき学校教育を受けた子供たちが成長し、大人になり、その時の日本が今よりさらに良い国になっていたとしたら。ワクワクしませんか？

課長補佐級

研究振興局ライフサイエンス課  
生命倫理・安全対策室室長補佐  
**吉田 彩乃** Yoshida Ayano

これまでの経歴の簡単な紹介と一番印象に残っている業務について

これまで、文部科学省では、ライフサイエンス分野の研究開発の振興、生命倫理に関する業務や、理化学研究所の運営支援などの業務に携わるとともに、原子力規制庁や内閣府 (科学技術・イノベーション推進事務局) への出向、経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA) への海外留学などを経験しました。どの業務においても得られるものが多く、何が一番と言うのは難しいですが、特に他省庁への出向において、他省庁の職員の方々、民間企業や大学の方々等、価値観の異なる多様な方と一緒に仕事をする機会を得られたことは自分にとって非常に良い経験になったと思っています。

現在の業務内容、現在の役職での役割、心がけていること

現在は、ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室において、人を対象とする生命・医学系の研究を行う際を守るべき指針の運用や、見直しに関する業務を担当しています。生命・医学系の研究は、医療の発展や私たちの生活の質の向上等に大きく貢献する一方で、患者さんの試料や情報を扱うことから、倫理面や個人情報の取扱いなど様々な観点に配慮し、指針を整備していくことが必要になります。見直しの検討にあたっては、専門委員会において様々な立場の専門家の方々から意見を聴取し、改正案を取りまとめられています。実際に研究をする方々にとってより良い指針となるよう、日頃から視野を広く持ち、様々な視点に立って考えられるよう心がけています。

文部科学省で働くことの魅力、  
学生等へのメッセージ

扱う分野が非常に幅広く、様々な分野の最先端の科学技術に関われること、スケールの大きな業務に携われることは、文部科学省で働くことの魅力の1つだと思います。また、自分のキャリアにおいては、研究推進、生命倫理等、様々な視点から科学技術を考えることができ、視野を広げるという意味でとても良い経験をさせていただいていると思います。省内の様々な部署だけでなく、他省庁等への出向や海外など、活躍の場は様々なところにあります。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

- 平成 18 年 入省 (化学)
- 平成 17 年 10 月 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
- 平成 18 年 7 月 同 研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室
- 平成 19 年 10 月 原子力安全・保安院原子力発電検査課
- 平成 21 年 10 月 文部科学省生涯学習政策局参事官付
- 平成 23 年 3 月 同 研究開発局原子力課専門職 (原子力留学:OECD/NEA)
- 平成 24 年 4 月 内閣府政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当) 付参事官 (重要課題達成担当) 付主査
- 平成 26 年 4 月 原子力規制委員会原子力規制庁原子力規制部安全規制管理官 (廃棄物・貯蔵・輸送担当) 付総括係長
- 平成 28 年 4 月 文部科学省研究振興局基礎研究振興課理研係長
- 平成 29 年 6 月 同 研究開発局宇宙開発利用課専門職
- 平成 30 年 4 月 (育児休業)
- 令和 元年 5 月 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室専門職
- 令和 2 年 9 月 (育児休業)
- 令和 3 年 5 月 文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課専門職
- 令和 4 年 4 月 同 科学技術・学術政策局研究開発戦略課専門官
- 令和 4 年 8 月 現職



## 課長補佐級

総合教育政策局地域学習推進課  
青少年教育室室長補佐

葛城 昌弘 Katsuragi Masahiro



### これまでの経歴の簡単な紹介と一番印象に残っている業務について

文部科学省では、我が国の競技スポーツにおける国際競技力の向上、私立学校・専修学校、青少年教育の振興や、出向した国立大学において中期計画の策定等、様々な業務に従事してきました。

豪雨の被害があった「平成30年7月豪雨」。元気に遊びまわっていた子供たちも被災し、避難所等での生活を余儀なくされました。当時所属していた部署では、所管する独立行政法人の協力を仰ぎ、被災した子供たちのリフレッシュ・キャンプを企画しました。被災した自宅の片づけで、この夏はどこにも連れていけないので、子供たちが思いっきり羽を伸ばすことができありがたかったと、キャンプの終了後に届いたあるお子さんの保護者からの手紙に涙が出たことを記憶しています。

### 現在の業務内容、現在の役職での役割、心がけていること

現在、所属している地域学習推進課では、「青少年教育の振興」を担当しています。こういった情報でも、インターネットで少し調べれば「結果」が出てくる時代です。こんな時代だからこそ、多くの青少年にリアルな体験を提供し、豊かな感性や好奇心・探求心を育ててもらいたい。そんなことを考える部署です。

「体験活動は人づくりの“原点”」。そんなことに思いを馳せながら、体験活動を通じて、多くの子供たちが感動したり、驚いたり、様々な気付きや発見が経験できるようになるには、国としてこういった取組や支援をしたら良いのか、多様な関係者との対話を重ねながら、日々の業務に取り組んでいます。

### 文部科学省で働くことの魅力、学生等へのメッセージ

文部科学省のシンボルマークは「羅針盤」をモチーフにしているって、知っていましたか？教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興を通じて、希望に満ちた未来を目指す、そんな文部科学省の役割を示しているのだそうです。日々の業務の成果が、すぐに目に見える形で表れるかといえば、必ずしもそうではありません。「どうもありがとう！」なんて、直接お礼を言っただけの機会も稀かもしれません。けれども、皆さんが今、ちょっと向き合ってみようかなあと考えていてくれる文部科学省の業務の一つ一つが、きっと世の中の誰かのために、誰かの助けになる、数十年後だったとしても、きっとプラスの影響があると、そう信じてもらえるなら、難しいことは考えずに、文部科学省で一緒に汗をかいてみませんか！

平成 17 年 入省（行政）  
平成 17 年 4 月 文部科学省大臣官房人事課企画班  
平成 18 年 4 月 同 大臣官房人事課任用班  
平成 19 年 4 月 同 スポーツ・青少年局競技スポーツ課  
平成 21 年 4 月 同 高等教育局私学部私学助成課  
平成 22 年 4 月 国立大学法人豊橋技術科学大学総務課学長オフィス付  
平成 23 年 4 月 同 研究協力課付（研究支援グループ）  
平成 24 年 4 月 文部科学省大臣官房総務課審議班  
平成 24 年 10 月 同 大臣官房総務課審議班審議第一係主任  
平成 25 年 10 月 同 大臣官房総務課審議班専門職  
平成 26 年 4 月 同 生涯学習政策局生涯学習推進課  
専修学校教育振興室専門職  
平成 27 年 4 月 同 生涯学習政策局専修学校教育振興室専修学校第二係長  
平成 28 年 1 月（育児休業／1カ月）  
平成 29 年 4 月 同 生涯学習政策局青少年教育課庶務係長  
平成 30 年 10 月 同 総合教育政策局調査企画課庶務係長  
令和 2 年 4 月 同 総合教育政策局地域学習推進課庶務係長  
令和 3 年 4 月 国立大学法人千葉大学企画総務部企画政策課長  
令和 5 年 4 月 現職

## 企画官・室長級

研究開発局宇宙開発利用課  
宇宙開発連携協力推進官

白井 暁子 Usui Akiko

### これまでの経歴の簡単な紹介と一番印象に残っている業務について

これまでの業務経歴では原子力安全規制に従事した年数が最も長く、そのほか、科学技術行政や国会事務局、国立研究開発法人での研究管理等も経験しました。特に、科学技術に関する高等の専門的応用能力を有する者を認定する国家資格である技術士の制度改革や試験管理に従事した際に、建設・農業・船舶・機械等々、我が国先端技術を支える全ての分野のトプランナーの方々と懇意にさせていただき、伺った御意見や体験談を踏まえ新たな施策を推進していったことは、貴重な経験となりました。

### 現在の業務内容、現在の役職での役割、心がけていること

主に航空宇宙技術分野における研究環境の整備・改善に向けた方策の検討や、研究開発費の拡充等の推進、人材育成及び産業連携に向けた支援を行っています。研究者の方々が着実に研究開発を実施できるように支援するためには、関係者とのコミュニケーションが大事ですが、言われたことや活字で書かれたことを表面的に読み取るだけでは真の理解は深まりません。相手の態度、いつもの話題、表情など、理解するヒントは色々あります。促成栽培は不可能なので、常に感謝と尊敬の気持ちを持って相手の考え方に興味を抱きつつ接するよう心がけています。

### 文部科学省で働くことの魅力、学生等へのメッセージ

行政に限る話ではありませんが、一般的に、仕事というものは専門分野に偏ってしまいがちです。一方、文部科学省では、様々な分野の最先端の科学技術に触れる機会が多々あります。このような中で、普段はなかなか近づけないようなその道のプロの方々も、若手のうちから議論を行うことができ、最先端の技術を身近に感じられることは得がたい経験になります。こんな魅力満載の文部科学省で一緒に働けることを楽しみにしています。

平成 7 年 入省（物理）  
平成 7 年 4 月 科学技術庁長官官房秘書課  
同 科学技術振興企画課  
平成 8 年 4 月 同 原子力安全局核燃料規制課  
平成 10 年 7 月 参議院常任委員会調査員  
平成 13 年 1 月 文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課専門職  
平成 13 年 7 月 内閣府原子力安全委員会事務局規制調査課規制第1係長  
平成 14 年 4 月 同 規制調査課規制調査官  
平成 15 年 4 月 同 審査指針課安全調査官  
平成 16 年 8 月 文部科学省研究開発局地震・防災研究課  
防災科学技術推進室防災科学技術係長  
平成 17 年 2 月 原子力安全・保安院核燃料サイクル規制課  
製錬・加工班製錬・加工審査係長  
平成 19 年 4 月 内閣府原子力安全委員会事務局規制調査課規制調査官  
平成 22 年 4 月 文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室専門官  
平成 23 年 4 月 同 科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室廃止措置確認専門官  
平成 24 年 9 月 同 研究開発局開発企画課核不拡散・保障措置室室長補佐  
原子力規制委員会原子力規制庁放射線防護対策部  
放射線対策・保障措置課保障措置室室長補佐（総括担当）  
平成 27 年 5 月 同 原子力規制部安全規制管理官（新型炉・試験研究炉・廃止措置担当）付  
管理官補佐（試験研究炉担当）  
平成 29 年 4 月 同 原子力規制部安全規制管理官（新型炉・試験研究炉・廃止措置担当）付  
廃止措置専門官  
平成 29 年 7 月 同 原子力規制部実用炉審査部門廃止措置専門官  
平成 31 年 4 月 物質・材料研究機構技術開発・共用部門事務統括室調査役  
令和 3 年 4 月 文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課専門官  
令和 5 年 7 月 現職



# ワークライフ バランス

文部科学省では、令和3年度から令和7年度末を対象とする「文部科学省における女性職員の活躍と職員のワークライフバランスの推進のための取組計画」を策定し、全ての職員が能力等を発揮しつつ、誇りとやりがいを持って生き生きと働くことができる職場環境づくりに積極的に取り組んでいます。

## ワークライフバランスを推進する各種支援制度・取組（一部）

### テレワーク勤務

ICTを活用し、自宅等において勤務することができる制度です。育児や介護を行う職員だけでなく、目的を問わず全ての職員がテレワーク勤務をできる体制が整っています。

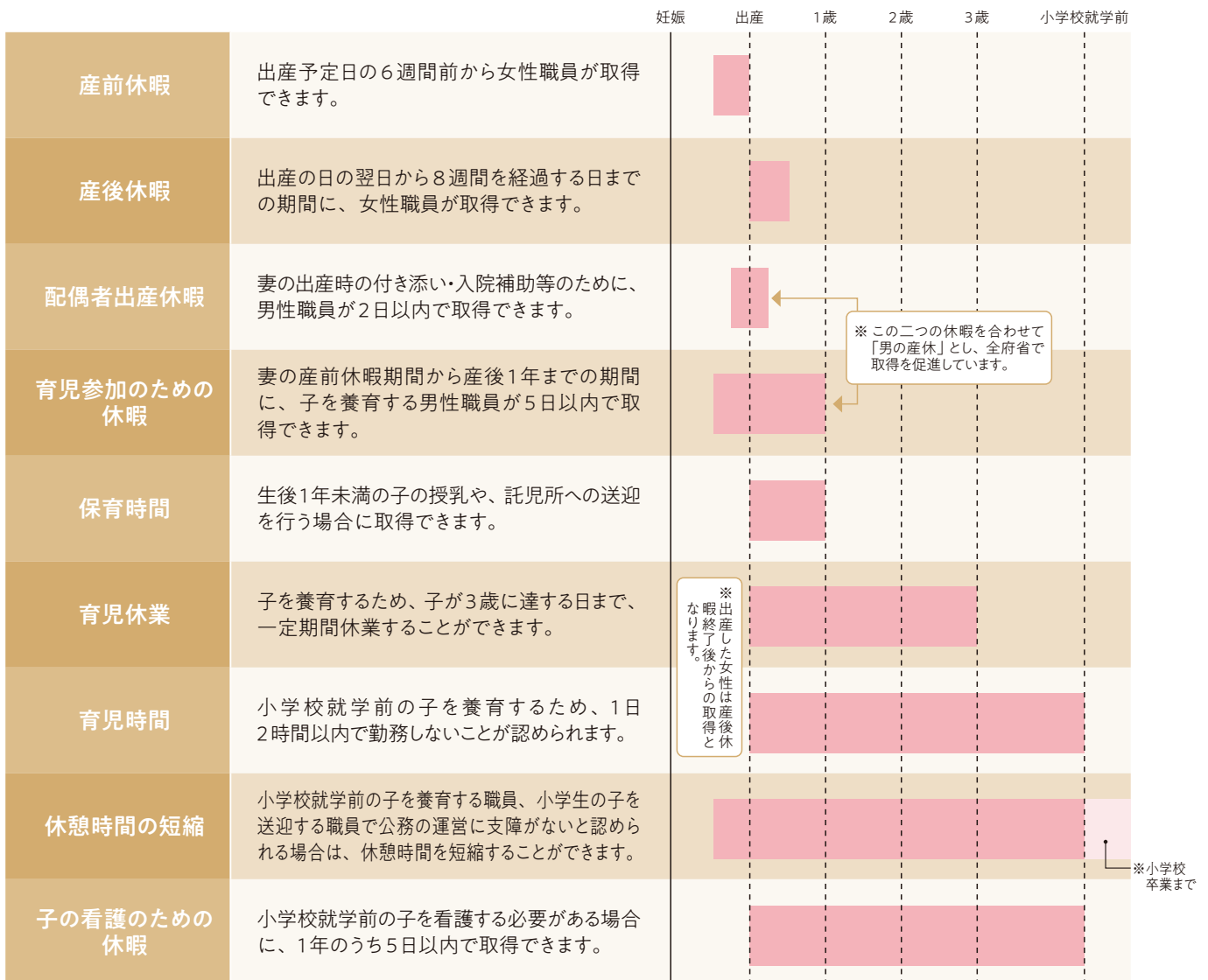
### 早出遅出勤務

出勤を必要とする場合でも目的を問わず、1日の勤務時間を変えずに全ての職員が始業の時間を7時から13時までの幅広い時間帯で柔軟に設定することができます。

### フレックスタイム制

総勤務時間数を変えないまま、始業・終業の時刻を自らのライフスタイルに合わせて柔軟に設定することのできる制度です。

## 出産・育児に関わる制度・取組（一部）



大臣官房人事課計画調整班評価係

## 鈴木 香澄 Suzuki Kasumi

平成30年入省(行政)

約1年の産休・育休を経て復帰し、現在3歳の子供を育てています。保育園入所当初は慣れない保育園生活で体調を崩すことも多かったため、1歳になるまで保育時間(30分×2回/日)を取得していました。保育園の送迎を夫と分担し、お迎えの曜日は早出遅出勤務と休憩時間の短縮を利用することで、復帰後もフルタイム勤務を続けています。周囲の「家庭と仕事の両立」への深い理解に感謝するとともに、定時で切り上げる必要がある中、いかに効率よくメリハリを付けて仕事に取り組むかを日々意識しています。



### 勤務時間

制度利用前 9:30~18:15

制度利用後 月水金 / 8:30~17:00 (休憩時間45分\*)  
火木 / 9:30~18:15

(※) 早出遅出勤務・休憩時間の短縮を利用

研究振興局参事官  
(ナノテクノロジー・物質・材料担当) 付専門職

## 水田 剛 Mizuta Go

平成24年入省(電気・電子・情報)



第一子の誕生に伴い、3カ月程度の育児休業を取得しました。上司等の理解や協力もあり、希望通りの期間、育児休業を取得することができました。

現在働く部署では、仕事と育児を両立している職員も多く、始業時間の柔軟な調整やテレワークの活用など、育児に積極的に参加できる環境です。出勤する日も、出勤前にミルクをあげ、帰宅後に寝かしつけなど、毎日子供の成長を見ることができています。

### 勤務時間

制度利用前 9:30~18:15 週5日出勤

制度利用後 8:00~16:45もしくは、9:30~18:15  
週2日在宅勤務、週3日出勤  
(業務の都合や家庭の都合により毎週調整)



## 1日のタイムスケジュール

## 09:30 ● 出勤

出勤後は前日の振り返りとメールチェック、その日の業務の整理をしています。

## 10:00 ● 財務省等からの依頼内容の確認

財務省等からの依頼内容を確認し、財務省との日程調整や予算班の各担当者への作業依頼を行います。各担当者が少しでも楽になればと思い、できる限り作業をしたうえで依頼するようにしています。

## 12:00 ● ランチタイム

おいしいお弁当やランチを食べに外に行きます。お昼は仕事のことを忘れておいしいものを食べてリフレッシュします。

## 13:00 ● 各種調整

午前中に発注した調書の作成について、予算班各担当者や、担当部局からの問合せや相談を受けます。場合によっては財務省とも相談し、作業内容を整理していきます。  
予算の業務は、迅速かつ正確な対応を求められるので集中力勝負です！



## 18:00 ● 全体の取りまとめ・確認

各担当での作業が完了し、提出があったものについて、取りまとめの作業を行います。  
金額に間違いはないかの確認はもちろん、全体を通して見たとき、または過去の実績と比較したときに矛盾している点がないか、文部科学省の回答として適切かどうか等の最終確認をします。

## 21:00 ● 退庁

業務が落ち着いているときは、上司がよく食事に連れて行ってくれます。先日は、新橋の美味しい焼肉に連れて行っていただきました！  
メリハリをつけて業務を行うことで、平日も充実した時間を過ごせるよう心掛けています。



大臣官房会計課第一予算班第一係

川上 守 Kawakami Mamoru

令和2年入省（行政）

## 現在の業務について

官房や文化庁の予算要求、文部科学省全体の予算額管理業務等に携わっています。

予算要求に関する業務では、各局課と財務省との繋ぎ役として、円滑に協議が進むよう日頃から担当者と積極的にコミュニケーションを取ることを心掛け、より良い予算になるよう努めています。

## 定時後や休日の過ごし方

定時後は読書や運動などで自己研鑽に時間を当てています。

休日はフットサルや芸術鑑賞、食べ歩きなどでリフレッシュ！  
国立競技場や近郊のスタジアムで行われるサッカーの代表戦、海外の強豪クラブの試合を見に行ったりもしています。



平均  
退庁時間

【繁忙期】 23:00

【閑散期】 19:00

【年間を通じての平均】

21:00



研究振興局ライフサイエンス課  
再生医療／ゲノム研究／バイオバンク担当  
**高橋 沙枝** Takahashi Sae  
令和4年入省（化学）

### 現在の業務について

再生医療やヒトゲノムの研究開発推進、バイオバンクの運営に関わる業務を行っています。現状の課題解決のみならず、未来の恩恵を考え、研究者や国研と協力しながら、事業の運営に取り組んでいます。

### 定時後や休日の過ごし方

まとまった休みが取れた時は友達と旅行に行きます。去年は淡路島に行きました！

気分が浮き沈みする時も、友達と会うと元気になります。同期と休暇を合わせ、遊びに行くこともあります。



**平均退庁時間**

【繁忙期】 20:00    【閑散期】 18:30

【年間を通じての平均】 19:00

## 1日のタイムスケジュール

09:30

### 出勤

定時通りの出勤です。朝一番にメールを確認します。喫緊の対応が求められるものがないか確認します。

10:30

### 資料の作成

文部科学省の公表予定資料を、ほんの少しの間違いないよう、注意して作成します。できた資料のパワーポイントを上司に見てもらいました。



12:00

### お昼休み

普段はお弁当が多いですが、たまに同期とランチに行き、趣味の話などをしてリフレッシュします。

14:00

### 打合せ

研究者の先生と、対面で久々の打ち合わせです。アカデミアなど現場の考えを知るとは、とても大切だと痛感しました。



17:00

### 論点整理

先ほどの打ち合わせで出た内容を整理します。その時分からなかったり、ふしぎに思ったことは、後から調べて補います。

18:15

### 退庁

定時で退庁し、日比谷で友達とご飯に行きました。盛り上がるほどさよならが遅れます。